安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築
Creating a Safe and Secure Living Environment in the Changing Public and Private Spheres

社会的弱者を支える個人情報の活用

新たな制度の可能性

シンポジウム
入場無料

定員100名

個人情報を活用して
安全な暮らしをつくるには
どうすればいいでしょうか？

地域には様々な問題を抱えて生活している人がいます。こうした人々が周囲から孤立すると、ときに虐待などの痛ましい事態が生じる恐れがあります。自治体などによる支援には個人情報の利用が欠かせません。
しかし、個人情報保護法は、特にSOSを出すことが難しい認知症や障害などを抱える人、子どもなどの社会的弱者（「判断能力が不足する人」）の同意について明示していません。代諾者の選定、同意の取得方法、第三者提供の例外規定の適用など、現場はときに難しい判断を迫られながら支援にあたっています。
本シンポジウムでは、個人情報の活用に際しての“同意”に焦点を当てて、個人情報を活用して安全な暮らしをつくる方策を、皆様とともに検討していきたいと思います。

プログラム

※予定です。変更になる場合があります。

13:00　開会・イントロダクション～公私空間で起きていること
　—子どもの同意にかかわる問題　山田 肇（領域総括／情報通信政策フォーラム）
　—高齢者の同意にかかわる問題　藤田 卓仙（名古屋大学・慶應義塾大学）

13:20　講演　個人情報保護法と代理人の同意　手塚 悟（慶應義塾大学）

13:40　講演　安全な暮らしをつくるための新たな制度の可能性について　横野 恵（早稲田大学）

14:30　話題提供
　—個人情報保護法制2000個問題　鈴木 正朝（新潟大学）
　—災害時における個人情報の活用　岡本 正（銀座パートナーズ法律事務所）
　—個人情報活用に向けた情報基盤の在り方　松本 泰（領域アドバイザー／セコムIS研究所）

15:00　パネルディスカッション&フロアとの討議

16:50　まとめ

17:00　閉会

3月12日（月）
13:00-17:00
開場12:30

お申込み

事前申込制となります。URLかQRコードよりお申込みください。

https://form.jst.go.jp/enquetes/pp-form

※定員に達し次第、お申込み終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

会場

フクラシア丸の内オアゾ１５階 会議室C

JR 東京駅丸の内北口 目の前／丸ノ内線 東京駅 直結／東西線 大手町駅 直結
https://www.fukuracia.jp/marunouchi/access/

東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビルディング 15階
TEL：03-3342-3511

お問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST） 社会技術研究開発センター（RISTEX）
「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域
TEL：03-5214-0133　E-mail：pp-info@jst.go.jp

国立研究開発法人 科学技術振興機構　RISTEX